

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    |    | 放課後等デイサービス いちか   |                       | 公表日                          |  | 令和 7年 12月 3日 |  |
|---------|----|--|-----------------------|------------------------------|--|--------------|--|
|         |    | チェック項目   |                       | はい                           | いいえ  | 工夫している点      | 課題や改善すべき点  |
|         |    | 環境・体制整備  | 1                     | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | <input type="radio"/>  |              | 一つの部屋の中で間仕切りを工夫し、利用児童全員が来所し両手を広げても、お互い干渉しあわないほどの広さを確保している。 |
|         | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | <input type="radio"/> |                              | 基準以上の配置を行っている。個別で対応すべき児童がいた場合には個別で対応している。  |              |  |
|         | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | <input type="radio"/> |                              | 一部屋の間仕切って整えている。バリアフリーについては玄関に段差があるものの、必要に応じてスロープを導入するなどの対応ができる。                                      |              |  |
|         | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | <input type="radio"/> |                              | 毎日清掃を行っており、清潔を保つようにしている。状況や体格に合わせて、環境を調整している。  |              |  |
|         | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | <input type="radio"/> |                              | 用途別のスペースがあり、必要に応じて使っている。   |              |  |
| 業務改善    | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | <input type="radio"/> |                              | 事業所全職員が参加する定例の会議によって進捗確認、振り返り、軌道修正を行っている。  |              |  |
|         | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | <input type="radio"/> |                              | 把握する機会を設けて、業務改善につなげるようにしている。   |              |  |
|         | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | <input type="radio"/> |                              | 定例の事業所会議や、日々の申し送りの中で意見等を取り入れて、業務改善につなげている。   |              |  |
|         | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | <input type="radio"/> |                              | 外部評価までは行っていないが、第三者委員に対して意見を求めて業務改善につなげている。   |              |  |
|         | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | <input type="radio"/> |                              | 毎月資質向上のための研修があり、全職員が参加している。外部研修の情報を提供したり、受けたい研修を希望することも出来る。  |              |  |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | <input type="radio"/> |                              | ホームページ上で公表している。  |              |  |
|         | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | <input type="radio"/> |                              | 関係者からの情報を整理、分析し、計画原案作成に役立てている。原案は支援会議で広く意見を求めて客観的に評価し作成している。   |              |  |
|         | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | <input type="radio"/> |                              | こどもの「やってみたい」を形にできるように体験する事から始め、意思疎通の難しい児童には保護者や学校関係者など広く情報を求めて方向性を決めている。                             |              |  |
|         | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | <input type="radio"/> |                              | 支援会議には全職員が参加している。普段の申し送りにおいては実践した結果気になった事や達成できたことなどを共有している。  |              |  |
|         | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | <input type="radio"/> |                              | 関係者からの情報と当事業所の面談からのアセスメントシートで評価している。見直しは記録や関係者からの情報を活用している。  |              |  |
|         | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | <input type="radio"/> |                              | 現在での家庭での様子や今後の方向性について面談で聞き取っている。その結果、家族の困り事や将来に対する不安も聞き取った上で、改善の可能性、悪化の可能性を検討し、具体的に計画に反映できるように努めている。 |              |  |
|         | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | <input type="radio"/> |                              | 日々の活動の結果を踏まえて活動の原案を作り、定例の会議の場で職員全員と意見交換をして進めている。   |              |  |
|         | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | <input type="radio"/> |                              | 法人内で話し合いをして固定化しないように調整している。また、日々の活動の結果を踏まえて調整できるようにしている。   |              |  |

|              |    |  |   |  |  |                          |
|--------------|----|--|---|--|--|--------------------------|
| 供            | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | ○ |  | 計画書に準じて取り組んでいる。場合によれば個別で専門的支援を行うこともある。                       |                          |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | ○ |  | 毎朝、前日の振り返りと本日の予定と段取り、留意点について確認し合っている。                        |                          |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | ○ |  | 翌営業日の朝に振り返りをし、気付いたことや気になることについて話し合い、今後の方向付けを行っている。           |                          |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | ○ |  | その日のうちに記録をし、検証・改善に繋げられるよう会議やモニタリング、情報共有に役立っている。              |                          |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | ○ |  | 計画途中でサービス内容や目標が変更となる場合や、計画実施機関に合わせた定期的なモニタリングを実施している。        |                          |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | ○ |  | 活動プログラムは4つの基本活動を基に構成しており、児童の「やってみたい」が体験できるように取り組んでいる。        |                          |
|              | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。                                   | ○ |  | やりたいこと、やってみたいことが体験できるようにしている。自分で決めにくい場合は選択できるようにするなど工夫している。  |                          |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | ○ |  | 相談員と日々の情報を共有している。複数機関が関わる事案は今のところないがそういった事案があれば参加できる。        |                          |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | ○ |  | 学校は日々送迎の時に情報を共有している。病院には保護者の同意を得て受診同行し、医師やセラピストとの情報交換を行っている。 |                          |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | ○ |  | 学校からの情報はFAXやプリント、アプリなどを介して頂いている。連絡調整も電話でやりとりしている。            |                          |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | ○ |  | 特定相談支援事業所とのやり取りを通じて、情報の共有をはかっている。                            |                          |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | ○ |  | 特定相談支援事業所を通じて情報提供を行っている。                                     |                          |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | ○ |  | スーパーバイズが受けられること、研修がある事については事業所内で周知している。希望があれば受けられることが出来る。    |                          |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | ○ |  | 活動で地域の公園に出かけたり、駄菓子屋、図書館に出かけることがある。その際には交流できる機会がある。           | 地域に出かけたことをどう発信していくか検討する。 |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | ○ |  | 放課後等デイサービス会議に出席し、協議会としての取り組みに参加している。                         |                          |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | ○ |  | 連絡帳や送迎時の引継ぎ時に事業所での様子を伝え共有できるようにしている。                         |                          |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | ○ |  | 連絡帳や保護者へのお知らせ、保護者会などを活用してその機会を設けている。                         | 保護者向けの研修などの情報提供を行う。      |
|              | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | ○ |  | 重要事項説明は丁寧に行っている。変更する場合は、事前に保護者へのお知らせや保護者会を活用して伝達している。        | 土曜日の開所について情勢を見て検討する。     |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ |  | モニタリング時の訪問、送迎時の引継ぎ時、個人面談、支援会議などの場を設けている。                     |                          |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | ○ |  | 自宅で計画書を提示しながら内容を説明して同意を得ている。                                 |                          |
|              | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                      | ○ |  | モニタリング訪問や、連絡帳や電話連絡を通じ相談にのることがある。必要であれば面談や訪問、受診同行など行うこともある。   |                          |

|          |  |  |   |  |   |  |
|----------|--|--|---|--|---|--|
| 保護者への説明等 | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ |  | 保護者会を開き、保護者同士の交流が出来る機会を設けている。                                 | 利用児童の中でのきょうだい同士の交流はあるが、利用していないきょうだいの交流には至っていない。今後の課題。    |
|          | 41   | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | ○ |  | 苦情対応の仕組みの体制がある。保護者には重要事項説明の段階で説明し、事業所内では窓口などについて掲示して周知している。   |  |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | ○ |  | HPで写真はプライバシーに配慮して保護者だけ見ることが出来るようになっている。お知らせやカレンダーを発行して配布している。 |  |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | ○ |  | 個人情報に関する者はカギのかかるところに入れて保管している。プライバシーに関することは口外しないよう心掛けている。     |  |
|          | 44   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | ○ |  | 絵カードやホワイトボードでやり取りをしている。保護者に対しては今のところ配慮の必要がないが、必要であれば準備できる。    |  |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | ○ |  | 地域の行事ごと（祭りや草刈り、みぞ掃除）には積極的に参加、協力している。                          |  |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | ○ |  | 各種マニュアル、要綱は事務所内に掲示している。委員会での内容も全職員、保護者と共有している。訓練は避難訓練にのせている。  | BCPの中でも感染症に関しては、保護者との訓練は行っていない。マニュアルや要綱の周知についての網羅が今後の課題。 |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | ○ |  | BCPの訓練は研修の後で実施している。避難訓練は毎月児童と一緒にしている。あわせて備蓄の確認、危険個所の確認を行っている。 |  |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | ○ |  | 利用前や新たな受診で分かった情報については保護者と共有できるようにしている。小さなこどもでも情報収集し共有している。    |  |
|          | 49   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | ○ |  | 現段階で指示書まで必要な児童はないが、必要があれば対応できる。                               |  |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | ○ |  | 定期的に研修や訓練を実施している。危険個所がないかのチェックも合わせて日々行っている。                   |  |
|          | 51   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | ○ |  | 保護者には重要事項説明時に説明している。必要に応じてお知らせを通じて情報提供している。学校とは小さな情報も共有している。  |  |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | ○ |  | 毎日振り返りを行い、その中でのインシデントやアクシデントについて話し合う場があり、共有して次の支援に繋げている。      |  |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | ○ |  | 虐待防止委員会を開催し、権利擁護についての支援方法について情報共有及び検討をしている。内部研修は年2回開催している。    |  |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○  |   | 身体拘束をしなければならないほどの事案はないが、必要になればその対応をとることはできる。一方でその可能性があるケースについては極力その対応を取らなくてよい方法について検討する。 |   |  |